

つなぐ

令和4年5月
校長 笹谷 真理子



「みんなで創る みんなが幸せになる学校」に



新学期が始まり。1カ月が経ちました。新しい学年での学校生活にもずいぶん慣れてきたようです。

今年度めざす学校像を「みんなで創る みんなが幸せになる学校」としました。

子どもたちが思う「みんな幸せになる学校」とは（委員長会議より・・・）

- ・安心して過ごせる学校
- ・笑顔で学校生活が送れる学校
- ・仲良く過ごせる学校
- ・安全な学校
- ・楽しいと思える学校
- ・明るい雰囲気包まれている学校



今日までの様々な学校の様子から、符津小学校はこれが実現できる学校だと感じています。その様子とは・・・

①高学年のリーダーシップ

- ・委員長会議、代表議会では、いい学校にするために自分の委員会でできることをめあてに決め、達成のためにすすんでうごいたり、学校全体を見て気づいたこと、課題を発信したり解決に向けて行動しています。
- ・下学年の前での、高学年らしい見本となる姿勢・声・やさしい気遣いが見られます。
- ・5年生が、先頭に立ってがんばっている6年生をアシストしています。

②明るく、素直な子どもたち

- ・しっかり話を聞くことに気をつけ、落ち着いて学習に取り組んでいます。
- ・時計を見て、音楽にさっと反応し、次の授業の準備をしています。
- ・元気に挨拶する子が多いです。朝、校門に立ってあいさつ運動をしてくれる子もいます。

③協力的な保護者の皆さん、地域の方

- ・感染症対策、学校からのお願いや連絡等を、快く協力的に受け止め、協力してくださっています。
- ・子どもの安全、教育活動のために、様々なお気遣いをいただいています。（防犯隊、田植え、環境整備、読書活動等）

④前向きで、一生懸命頑張る先生方

- ・子どもたちにつけたい力をみんなで確認し、心を揃え、指導しています。
- ・助け合い、協力して、明るい職員室です。



これから、これまでの取組を継続しながら、子どもたちを中心に、「幸せになる学校づくり」のために、さらに取組を考えていきたいと思ひます。ご協力をよろしくお願いいたします。

☆挨拶は相手への思いやり～5月全校集会 校長の話から（抜粋）～

挨拶の「挨」には心を開くという意味があり、「拶」には相手に近づくという意味があります。

つまり、挨拶は「心を開いて相手に近づくこと」という意味になります。

朝の挨拶「おはようございます」は、「早くから、ご苦労さまです」の略で、朝早くからがんばる人を励ます言葉です。「こんにちは」は、「今日は、ご機嫌いかがですか」の略で、相手の体調や気持ちを気づかう言葉です。「さようなら」は、「今日は楽しかったね。明日また会いましょう。」の略です。

挨拶の言葉は、決まり文句のように何気なく使われている言葉ですが、相手に対する思いやりを込めたメッセージなのです。挨拶をすると、元気が出るのは、相手から思いやりの気持ちをももらったなあ、大切にしてもらったなあと感じるからです。挨拶の上手な符津小学校には、思いやりの心がある人たちが、たくさんいるということです。その思いやりの輪、挨拶の輪を友達や先生はもちろん、地域の方、学校にいらっしゃったお客様にも広がっていきましょう。

☆行事より

4/27 縦割り活動・校外学習の代わりに6年生を中心に楽しく笑顔で活動する姿が見られました。



5/10 5年生田植え体験・・・生産組合様のご協力で学校前の田んぼに苗を植えました。とても上手だとお褒めの言葉をいただきました。



5/12 任命集会・各委員会役員、学級代表に任命証を渡しました。緊張感のある立派な態度でした。



5/13 スポーツテスト・・・4～6年生がシフトボール投げ、反復横跳び、立ち幅跳び等の種目にチャレンジしました。



HP（ホームページ）を少しずつ整え、更新しています。子どもたちの様子や学校の活動を順次お知らせしていこうと思っています。ぜひ、ご覧ください！

GWが終わり、県内及び市内の感染状況は、増加傾向にあります。これから暑くなり、熱中症も心配です。子どもたちが、楽しく、安心安全に教育活動を行うことができるよう、感染予防、熱中症予防により気を付けていきたいと思っています。ご家庭でもぜひご留意ください。よろしくお願いいたします。